

第74回 TREE セミナー @ 東邦大学

タンザニア・マハレ山塊国立公園におけるアフリカヒョウの食性に関する研究の紹介

講演者：仲澤伸子

所属：京都大学野生動物研究センター、博士後期課程

11月13 (FRI) 15:00-16:30 理学部V号館5201教室

要旨

ヒョウはネコ科の中でもっとも広範囲に生息しており、地域によってさまざまな形態や行動を示す。これまでヒョウの食性研究はサバンナでおこなわれたものが多く、レイヨウをおもに食べているとされてきた。一方、森林での調査によると、霊長類を高頻度で食べるということが明らかにされている。わたしはこの違いに興味を持ち、タンザニアのマハレ山塊国立公園において、3年にわたり調査をおこなった。マハレは熱帯低地林であり、チンパンジーをはじめ野生動物や植物の研究が日本人を中心に50年継続している調査地である。今回は、糞分析をもとにした食性分析と赤外線センサーカメラによる個体数推定からわかってきたことを紹介する。